

# 創造的な場がこんな近くにあって幸せ



演劇ファミリーMyu / OMT-JAPAN

にし だ しん  
西田 慎 さん

みの〜れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ  
No.193

コスモスの花はピンクや白、濃い赤、黄色やオレンジ色など年々カラフルになっているそうです。みの〜れの大きな木々も、どんぐりが落ちて楽しそうに拾う子どもたちを見かけます。今回は、みの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」とエンターテインメント集団「OMT-JAPAN」のメンバーとして活動する、石岡市にお住まいの西田慎さんを紹介します。

## 自分のスキルを活かせる場

「しん兄さん」と呼ばれ親しまれている西田さんは、姉や従兄弟が出演した演劇を観て、拍手を浴びている姿に「自分もその景色を味わいたい」と思い、小学4年生で演劇クラブに入りました。高校でも演劇同好会で活動。「声優になるための演劇経験を積もうと思っていました」。しかし、父親からは演劇関係の道に進むことには反対されていたと言います。それでも東京の専門学校に入學して音楽科で1年、演劇ミュージカル科で2年学び、「劇団ふるさとキャラバン」のオーディションに合格。プロの俳優として10年間、全国で年間100近い公演をする日々を送りました。

劇団の解散を機に地元に戻り、しばらく演劇から距

離を置いていたものの、水戸市内の劇団から依頼があった出演した舞台で、Myuメンバーの小池伸二さんと知り合いました。Myuの活動趣旨に共感し、再び舞台に立てる喜びを胸にMyuに加入。「オリジナルミュージカルを地域の人たちが創り上げていることに驚きました。こんな場がすぐ近くにあったなんて幸運。自分が培ってきたスキルを活かせるみの〜れとMyuに出会えて本当に嬉しい」と語ってくれました。

Myuに入ってから「悪役やおネエなど、演じてみたかった役に挑戦できてよかった」という西田さん。Myuに参加したこと、共に作品を創り上げようという気持ちが強くなったと言います。「Myuには脚本を書ける人がいるので、物語の題材をみんなを出し合ったり、役者がセリフを考えて提案したりして、

みんなで作品づくりに関わっています」と教えてくれました。西田さんのもう一つの活動、OMT-JAPANに關わるようになったのは2年前。知り合いが多く、軽い気持ちで練習に顔を出しました。大道芸の技をいくつか挑戦したらうまくできず、「自分が不器用なことに気づかされました」。できなかったことができるようになる喜びを感じ、正規メンバーに。練習に通いながら、仲間たちと一緒に市内外のいろんな場に向いてパフォーマンスし、来場者を楽しませていきます。

「自分は演劇が好きなんだと改めて気づきました。人前に立てる場があつて良かったです。演劇もパフォーマンスも生活の一部。恵まれた環境にいますね」と語る西田さん。次の出演を楽しみにしています。

(藤田佐知子)